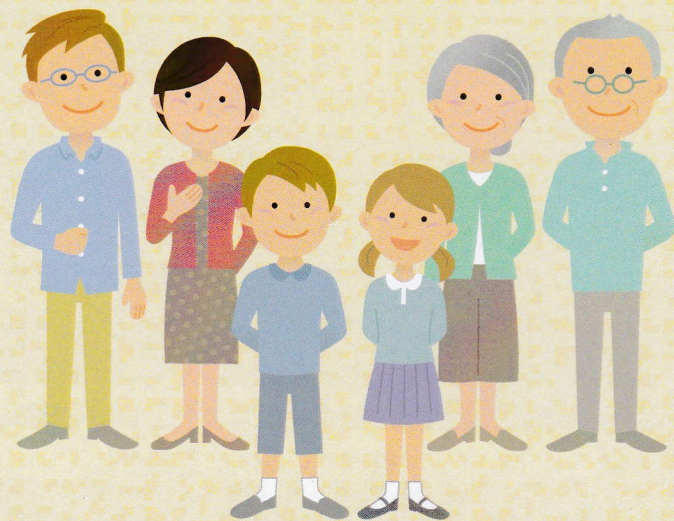


家庭で出来ること 地域の方々が 出来ること



- ◆出来る範囲でやれることを考えていく。
- ◆保護者は子供を預けている場をより良くする。
- ◆先生方が多忙であることを、保護者や地域が理解しその上で自分たちで出来ること、せねばならないことを確認する。例えば、しつけは本来家庭ですべきこと。それを学校に押しつけるから多忙になる。安全も地域で考える必要あり。
- ◆部活動の事務処理の大変な部分を保護者が補う。
- ◆先生方が授業に専念できるように、行事等役割分担し手伝えるようにする。

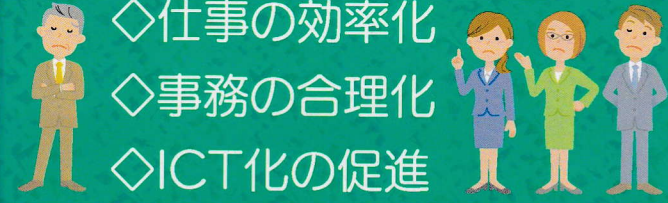


- ◆役割分担が必要。例えば、教員は勉学、事務が行事、保護者は手伝い、地域は見守り。
- ◆保護者は自分の子供だけでなく他の子供も慈しんで下さい。地域は今まで通り様々な場面でお手伝いをして下さい。
- ◆PTAがやる気を出しすぎると逆に先生方の負担を増やす。気負わないPTAの方が良いのでは。



国・都・区への 要望

- ◇教員の定数の増加
- ◇学力テストの一本化
- ◇仕事の効率化
- ◇事務の合理化
- ◇ICT化の促進



会議 概要

日時：令和元年8月27日 午後3時～4時

場所：井荻中学校多目的会議室

参加者：教員各学年より代表2名ずつ・保護者3名・学校運営協議会委員6名 合計15名